

【C年^{ねん}】

聖霊降臨後第四主日^{せいれいこうりんごだい しゅじつ}

特定九^{とくてい}

主よ、わたしたちは主に寄らなければ、何一つ良いことはできません。どうか、主に従い、み心になうように生き、常に正しいことを思い、また行うことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司祭 「聖書のみ言葉を聞きましょう」

会衆は着席する。

旧約聖書^{きゅうやくせいしょ}

朗読者 「旧約聖書はイザヤ書第六十章十節から」

10 エルサレムと共に喜び祝い
彼女のゆえに喜び躍れ
彼女を愛するすべての人よ。

彼女と共に喜び樂しめ

彼女のために喪に服していたすべての人よ。

11 彼女の慰めの乳房から飲んで、飽き足り

豊かな乳房に養われ、喜びを得よ。

12 主はこう言われる。

見よ、わたしは彼女に向けよう

平和を大河のように

国々の榮えを洪水の流れのように。

あなたたちは乳房に養われ

抱いて運ばれ、膝の上であやされる。

13 母がその子を慰めるように

わたしはあなたたちを慰める。

エルサレムであなたたちは慰めを受ける。

14 これを見て、あなたたちの心は喜び樂しみ

あなたたちの骨は青草のように育つ。

主の御手は僕たちと共にあり

憤りは敵に臨むことが、こうして示される。

15 見よ、主は火と共に来られる。

主の戦車はつむじ風のように来る。

怒りと共に憤りを

叱咤と共に火と炎を送られる。

16 主は必ず火をもって裁きに臨まれ

剣をもつてすべて肉なる者を裁かれる。

主に刺し貫かれる者は多い。

朗読者 「旧約聖書を終わります」

詩編

腰掛けたままで、一節ずつ交互に唱える。

第六六編 一〇八節

- 1 全地よ、主に向かって喜びの声をあげよ＝ 名名の栄えをほめ歌い、その栄光を賛美せよ
- 2 神に向かって言え、「あなたのみ業は恐るべきもの＝ 敵も偉大なみにひびをかめる
- 3 全地はあなたを伏し拝み＝ 名名をたたえて喜び歌う」
- 4 来て、神のみ業を見よ＝ 人びとに行われた恐るべき
- 5 み業を
- 6 神は海を陸に変え、人は川の中を歩いて渡った＝ 彼は
- 7 らは神のみ業を感謝して喜んだ
- 8 神は力を現してとこしえに治め＝ 諸国に目を注ぎ、逆らう者を高ぶらせない
- 9 すべての民よ、わたしたちの神をたたえ＝ 賛美の声
- 10 を響かせよ
- 11 神はわたしたちに命を与え＝ 足を揺るぎなく支えら

使徒書

朗読者 「使徒書はガラテヤの信徒への手紙 第六章十四節から」

14 しかし、このわたしには、わたしたちの主イエス・キリストの十字架のほかに、誇るものが決ってあつてはなりません。この十字架によって、世はわたしに對し、わたしは世に對してはりつけにされているのです。15 割礼の有無は問題ではなく、大切なのは、新しく創造されることです。16 このような原理に従って生きていく人の上に、つまり、神のイスラエルの上に平和と憐れみがあるように。

17 これからは、だれもわたしを煩わさないでほしい。わたしは、イエスの焼き印を身に受けているのです。18 兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように、アーメン。

朗読者 「使徒書を終わります。」

一同立つ。

ここで聖歌を歌う。

福音書

司祭 「主は皆さんとともに」

会衆 「また、あなたとともに」

司祭 「聖ルカによる福音書第十章一節以下に記された主

イエス・キリストの福音。 主に栄光」

会衆 「主に栄光がありますように」

1 その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行く
つもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。2 そ
して、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。
だから、収穫のために働き手を送ってくださいるように、
収穫の主に願いなさい。3 行きなさい。わたしはあなたが
たを遣わす。それは、狼の群れに小羊を送り込むようなも
のだ。4 財布も袋も履物も持つて行くな。途中でだれにも
挨拶をするな。5 どこかの家に入ったら、まず、『この家に
平和があるように』と言いなさい。6 平和の子がそこにい
るなら、あなたがたの願う平和はその人にとどまる。もし、
いなければ、その平和はあなたがたに戻ってくる。7 その家
に泊まって、そこで出される物を食べ、また飲みなさい。働
く者が報酬を受けるのは当然だからである。家から家へと
渡り歩くな。8 どこかの町に入り、迎え入れられたら、出
される物を食べ、9 その町の病人をいやし、また、『神の国
はあなたがたに近づいた』と言いなさい。10 しかし、町に入っ

ても、迎え入れられなければ、広場に出てこう言いなさい。
11 『足についたこの町の埃さえも払い落として、あなたが
たに返す。しかし、神の国が近づいたことを知れ』と。12 言っ
ておくが、かの日には、その町よりまだソドムの方が軽い罰
で済む。16 あなたがたに耳を傾ける者は、わたしに耳を傾
け、あなたがたを拒む者は、わたしを拒むのである。わたし
を拒む者は、わたしを遣わされた方を拒むのである。」

17 七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。「主よ、
お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します。18
イエスは言われた。「わたしは、サタンが稲妻のように天か
ら落ちるのを見ていた。19 蛇やさそりを踏みつけ、敵のあ
らゆる力に打ち勝つ權威を、わたしはあなたがたに授けた。
だから、あなたがたに害を加えるものは何一つない。20 し
かし、悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んで
はならない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されてい
ることを喜びなさい。」

司祭 「主に感謝」

会衆 「主に感謝します」